

科目名	スタジオ実習Ⅱ	形態	実習	開講期	秋学期
担当教員	川井 敏生	単位	1	年次	2

＝授業科目の目標＝

めいおんスタジオを利用し、レコーディングの基礎について学ぶ。授業目標は、エフェクト系の理解と、Pro Tools を使ったレコーディング作業が出来るようになる事。

＝履修の条件と学習の方法＝

音楽ビジネスコース、音響基礎演習Ⅱを受講中もしくは履修済であること。やむを得なき場合を除き、欠席遅刻のないこと。(実習授業のため、人数の減少は間接的に他の受講者の履修の妨げとなる)遅刻早退は出席扱いと認めない。音をシビアに扱う授業なので、私語を慎み、体調管理をして望むこと。

＝授業内容＝

注・各種の項目はそれぞれ関連性が強いため、授業の進み具合により順番や若干の内容変更の可能性がある。

- 1回 スタジオ実習Ⅰの内容確認 レコーディングをシミュレーションしたセットアップ
- 2回 周波数とイコライザ1 イコライザとは イコライザの操作と音響的効果 周波数と音質の関連性
- 3回 周波数とイコライザ2 イコライジングポイントの目安 楽器・音源別イコライジング
- 4回 センドリターン プラグインの使い方 エフェクタ別セッティング
- 5回 リバーブ 効果とかけ方 プラグインによる音質の違い
- 6回 ディレイ ディレイタイムによる効果の違い
様々なディレイの活用方法 タップディレイ・ピンポンディレイ
- 7回 コンプレッサ1 コンプレッサの動作原理 スレッシュホールドとレシオ アタックとリリース
- 8回 コンプレッサ2 アタックタイムによる音質変化 ソフトニーとハードニー
リミッターとマイキシマイザ
- 9回 その他ダイナミクス系 ディエッサ ゲート
- 10回 空間系エフェクトと関連エフェクト ディレイによる生成 フェイズによる生成
イコライジングによる生成
- 11回 エフェクトまとめ その他のエフェクト(汚し系など) エフェクトの順番 SEとしての利用
- 12回 ミキシング1 バランスと定位
- 13回 ミキシング2 オートメーション
- 14回 ミキシング3 プリマスタリング
- 15回 まとめと習得度確認 ミキシングについての理解など

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業内で簡単な課題に沿って機器の操作等を行い、その作業内容から習得度をはかり、単位の認定をする。出席のみでの単位認定はしない。授業内でのレポートを随時実施

＝テキスト(必携)＝

不要・必要に応じプリント配布